

2024（令和6）年度 文学部英文学科 一般選抜（中期）講評

英文読解問題と英語での表現力を見る問題から構成されている。読解問題は、多様な分野の英文の内容を限られた時間内に的確に理解できるかどうか、英作文の問題では、自分の考えや伝えたい内容を適切な英語で読み手にわかりやすく表現できる力があるかを見る。



【出題意図】

2010年に出版された、言語学者 David Crystal 著書の *A little book of language* に掲載された「消えゆく言語 (Endangered languages)」に関する評論である。本文では、多くの言語が急速に消えつつあること、その原因となること、2言語使用 (bilingualism) の長所を多くの国々が認識し始めていること、また、どのように言語を保護できるかについて説明している。各パラグラフの概要を理解できること、上述した要点についての的確に理解できること、文脈を把握したうえで比喩表現を具体的に説明できること、本文の内容に関連させて自分の考えを構築し適切に表現できることが求められる。

【評価のポイント】

問1は、各パラグラフの概要を理解したうえで、それぞれの帰結文として適切なものを選ぶものである。前文だけでなく、パラグラフ全体の文脈を把握することが肝要である。問2は、言語消滅の要因、最近多くの国で言語に関して認識されてきたこと、また、言語を保護する方法について要点を理解していることに加え、与えられた英文を適切に完成させる英文構成力が必要である。問3は、比喩が具体的に指しているかを理解したうえでわかりやすく説明する力を見ている。問4は、本文内容を十分理解したうえで、自分の考えを論理的に表現できるかどうか重要である。

【答案の傾向】

問1 全体的によくできていたが、2. と 3. の取り違いが多く見られた。どちらも言語が死にゆく速さを語っているが、補完文の主語に気をつけて適切な文を選ぶことが求められている。

問2 解答の根拠となる部分を適切に読み取り理解できていると思われる答案が多かった。与えられた英文の後に続く構成になるよう、必要な部分を書き換えて適切に表現している優れた答案が一定数みられた。

問3 比喩表現の解釈であるために、それが意味していることを別の言葉で書く必要がある。前後の内容をよく読み取り、具体的に表している答案が多かったが、中には「言語は死んでいるのではなく、眠っているだけである」と直訳的なものも散見された。

問4 概ねよくできていた。3文程度であっても、自分の意見(Opinion)、理由(Reason)、説明や例(Explanation/ Example)という構成で論理的かつわかりやすく書いている優れた答案が一定数あった。

II

【出題意図】

コロナ禍の前の時代、2018年に『タイム』誌に発表された英文のエッセーから出題した。本文で描かれている、イタリアのヴェニスやスペインのバルセロナに世界各地から非常に多くの観光客が訪れ、「オーバーツーリズム」の状況を呈している事態やそれらを巡る諸要因および対策についての的確に理解し、設問の意図に沿って適切に日本語でまとめることができるかを見ようとした。また、形容詞を選ぶ問題では、それぞれの英単語の意味を十分に把握し、空所の前後の文脈を的確に読み取り、最もふさわしい語を選ばせるものである。英語で書かれた論説文を限られた時間内で正しく読めるように、普段から多様な話題の英文の読解力や語彙の知識をつけることが肝要である。また、それらの英文の背景になる世界で起きている様々な時事的な事象について普段から興味や関心を持つことも大切である。

【評価のポイント】

本文の本質的な理解に不可欠とも言える英文の箇所について、設問部分の前後の文脈を視野に入れながら適切に把握し、それらを指示に従って適切な日本語表現でまとめ上げることができるかが重要である。そのようなことがきちんとできているかを、設問ごとに具体的な基準を設けて評価した。

【答案の傾向】

問1 難しかったようであるが、住民の生活が守られるべきで、観光業を抑止するために住民の自由を制限してはならないといった趣旨の優れた答案も一定数見られた。

問2 下線部に続く本文の各所を把握する必要があるが、ポイントを的確に押さえている答案がかなり多く見られた。ヨーロッパの財政危機→それを打開するために多くの観光客の誘致→「観光公害」を引き起こす、という流れでまとめるとよい。

問3 本文に書かれている具体例を示している答案が多く見られたが、市長の行った施策は

段落全体を通じて記されているにもかかわらず、同段落の第3文のみにしか着目できていない答案が散見された。

問4 正答率は半分程度である。同じ記号を2回使用しないというルールを守っていない答案が少数であるが見られた。

III

【出題意図】

本文は短編小説の一節を用いた英文である。全寮制学校への入学を必死に抵抗する Patience、そして Patience を粘り強く説得し全寮制学校へ向かわせようとするその母親 Marjorie の心理を読み取る力を問うのが出題意図である。文全体としては、難易度の高い単語、語句や構文が頻出することではなく、スムーズに直訳できたり情報収集できたりしてしまう平易な文章に思えるかもしれないが、問1、問2、そして問4について言えば、登場人物の言動を理解することから一歩先へ進み、登場人物の心の機微を汲み取れる深い読みを心がけてほしい。代名詞の指示内容を説明する問3については、文法を無視しない精密な読みが必要である。問5は語彙力を問う問題である。

【評価のポイント】

問1では、Patience がそもそもなぜ「激しく泣いて」いるのかを解答する問題である。下線部(1)を含む箇所が強調構文となっていることを見抜くことができると評価としては高くなる。問2は Patience の全寮制学校行きを実は母親も悲しんでいるという心中を知ってしまった Patience の心理を問う問題である。下線部(2)の直前にある母親のことばにあるように、Patience の全寮制学校への入学は、母親にとっても耐え難いことなのだ。そのことを知ってしまった時の Patience の行動は下線部(2)直後の箇所に描かれている。すなわち、Patience は辛いのは自分だけだと思って泣いていたが、下線部(2)周辺の出来事から実は母親も辛いのだと新たに気づいてしまったが故に、ナイアガラの滝のように泣いてしまうのだ。問3は代名詞の指示内容を問う問題であるが、実質的には下線部(3)を含む“Tim would have wanted it”についての説明問題と考えてよい。Timとは Marjorie の夫、もしくは Patience の父親のことで、すでに戦死してしまっている。“would have”とあるから、「それ」を望んだのは Tim ではないということを予め指摘しておこう。指示代名詞の指示内容を突き止めるためにはその前の部分に注意を払うのが鉄則で、この問題においても、下線部(3)の前段落の重要ポイントを理解しまとめれば高評価となる。問4については、全寮制学校に行きたくないと泣きわめく Patience が泣き止むのは、母親 Marjorie が「驚くべき強さ」で制止したことが大きく作用している。この Marjorie の態度が Patience の心を動かし、娘 Patience は全寮制学校への入学を覚悟することになる。問5については文脈を捉えることと英英辞典への慣れが必要である。

【答案の傾向】

問1 全寮制学校へ行かなければならなくなったことや、そのことで本人が悲しくなった気持ちについて、概ね正確に記述されていた。

問2 よくできていた。

問3 多くの受験者が「評判のよい学校」に Patience を入学させると解答できていたが、評判のあまり良くない通学学校に通わせたくない点や Patience が責任感のある大人になってほしいという重要な点を書けている解答は少なかった。また、定石通りに下線部(3)の直前の段落をよく読めば、Patience の全寮制学校への入学は Patience の祖父母(すなわち、Tim の両親)の望みだということが理解できるのだが、この点については理解できていた受験生が比較的多く見られた。

問4 上述した Marjorie の Patience に対する毅然とした態度をこの箇所から読み取るのは、多くの受験生にとって難しかったようだ。Marjorie が Patience に対し全寮制学校での勉強の魅力を語ったり、毎日手紙を書くことと約束したりしたのは、全寮制学校へ行くのは変えられない事実であると Patience を説得しなだめるための方便にすぎない。また、Marjorie が Patience を叩いたという理解に基づく回答が散見されたが、それは“as though”の含意を汲み取れていないからだと考えられる。

問5 概ねよくできていた。

IV

【出題意図】

英語のことわざを理解し、その意味に合う自身の経験を英語で表現させるライティング問題である。英語のことわざとその意味は *A First Dictionary of Cultural Literacy* に掲載されているものを引用した。四月の雨にたとえられているつらいことと、五月の花にたとえられている、つらいことの結果もたらされるよいことが英語で表現できているかを問う設問である。

【評価のポイント】

ことわざの意味を捉え、述べたい内容を論理的に表現できているかで評価した。その際に、英文構成力、文法力、表現力を考慮した。

【答案の傾向】

部活動や学習についての記述が多かった。また、挑戦について述べた回答があったが、challenge という語の日本語と英語の違いを理解していないように思われた。日本語になった英語とももとの英語の意味を理解せずに使ってしまう傾向が見られた。